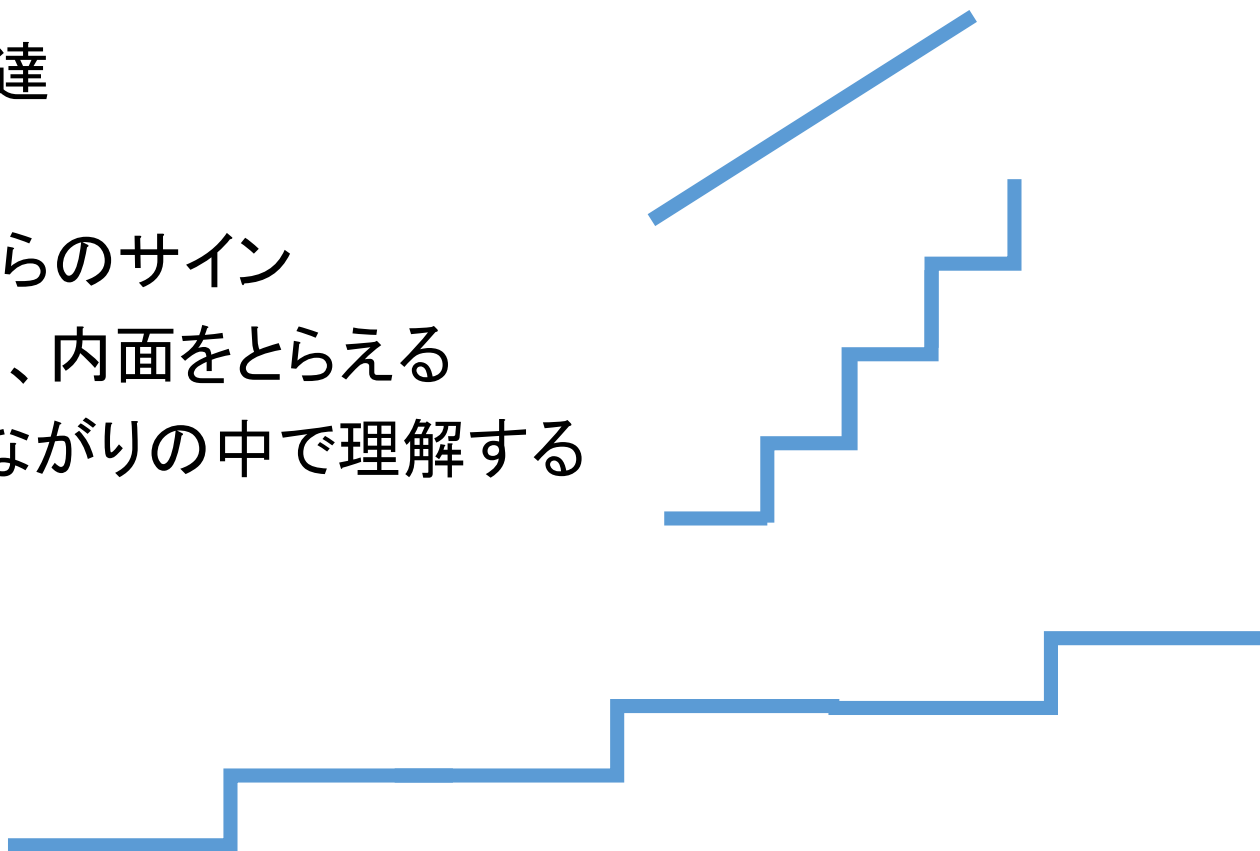


発達を理解するための視点

- ・たての発達 よこの発達
- ・レディネス(準備性)
- ・問題行動は、子どもからのサイン
行動のもとにある思い、内面をとらえる
- ・発達・障害・生活のつながりの中で理解する

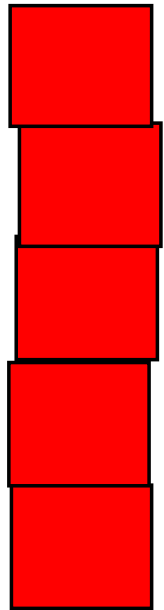


発達検査で観察していること

積木の塔

1歳頃 1個積むことができる(積木の上に積木を重ねて手が離せる)。
1歳半頃 3個以上積むことができるようになる。

- ・取り組み始める時の姿
- ・くずれそうになることがわかって表情が変わるか
- ・ひとつ積んだことを次へのバネにして行動を積み重ねているか
- ・積木が倒れたときに積みなおすか
- ・積みなおす時に自分から積みなおすか
- ・前よりも気をつけて積もうとするか
- ・積めた時に検査者の顔を見て確認してくるか
- ・積木の持ち方はどうか
- ・左右の手の使い方はどうか





自己調整力

自己復元力
立ち直りの力

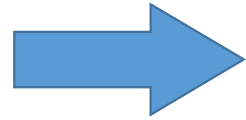
道具的行為
目的をつくる力



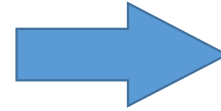
課題に取り組む姿を通して、背景にある生活をとらえる

1歳児 前半

めばえる時代

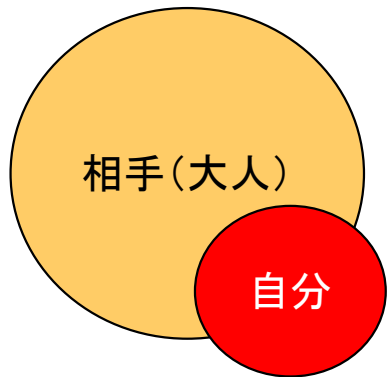


自我の育ち

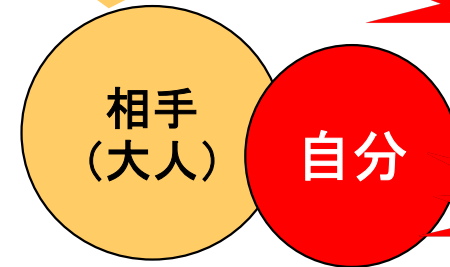
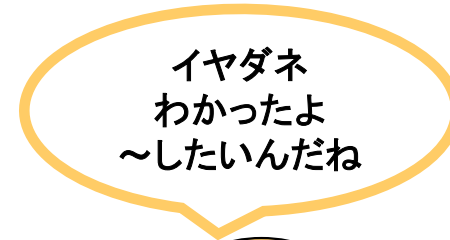
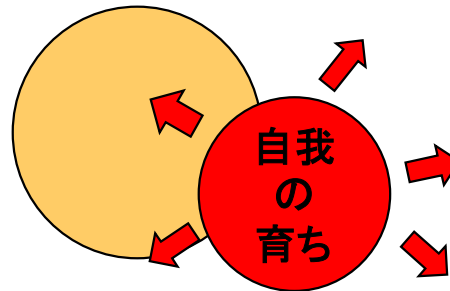


1歳児 後半

充実する時代

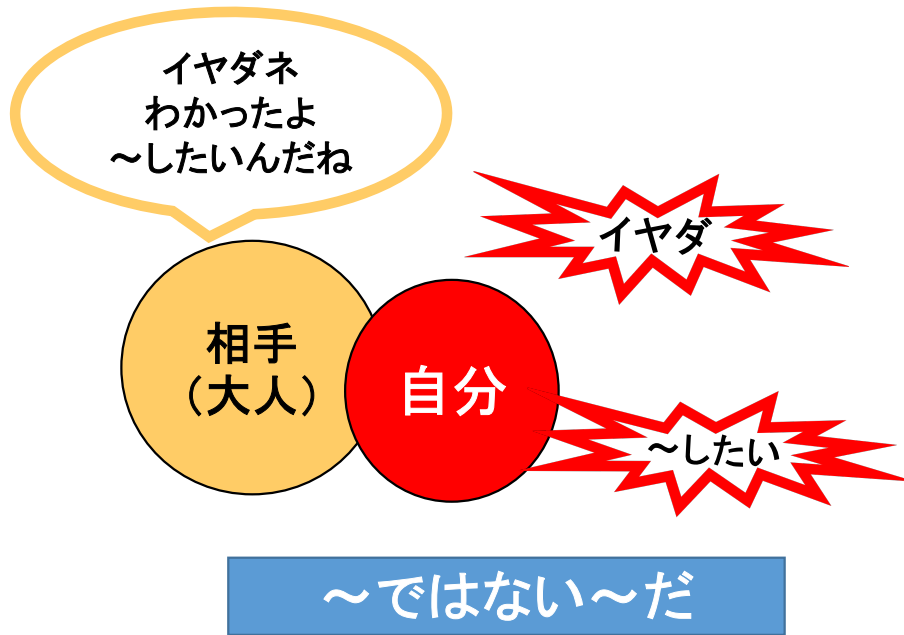


大人の存在
活動の結果を大人が共感



1歳児 後半

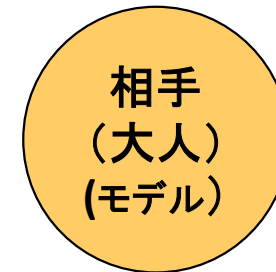
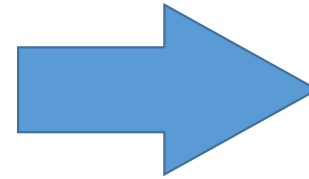
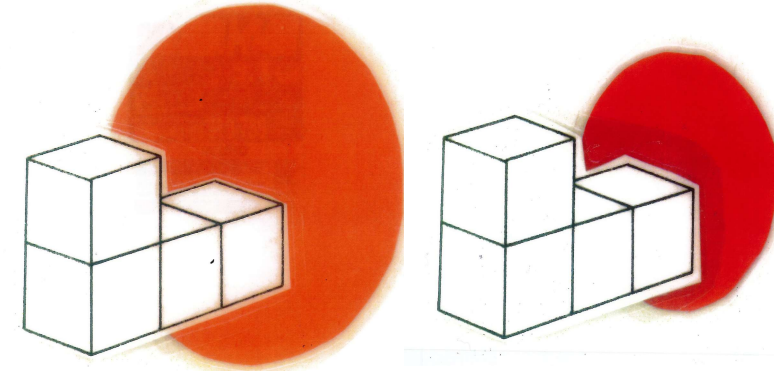
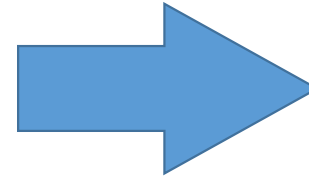
充実する時代



2歳児

自分で選ぶ
自分で決める

=対比



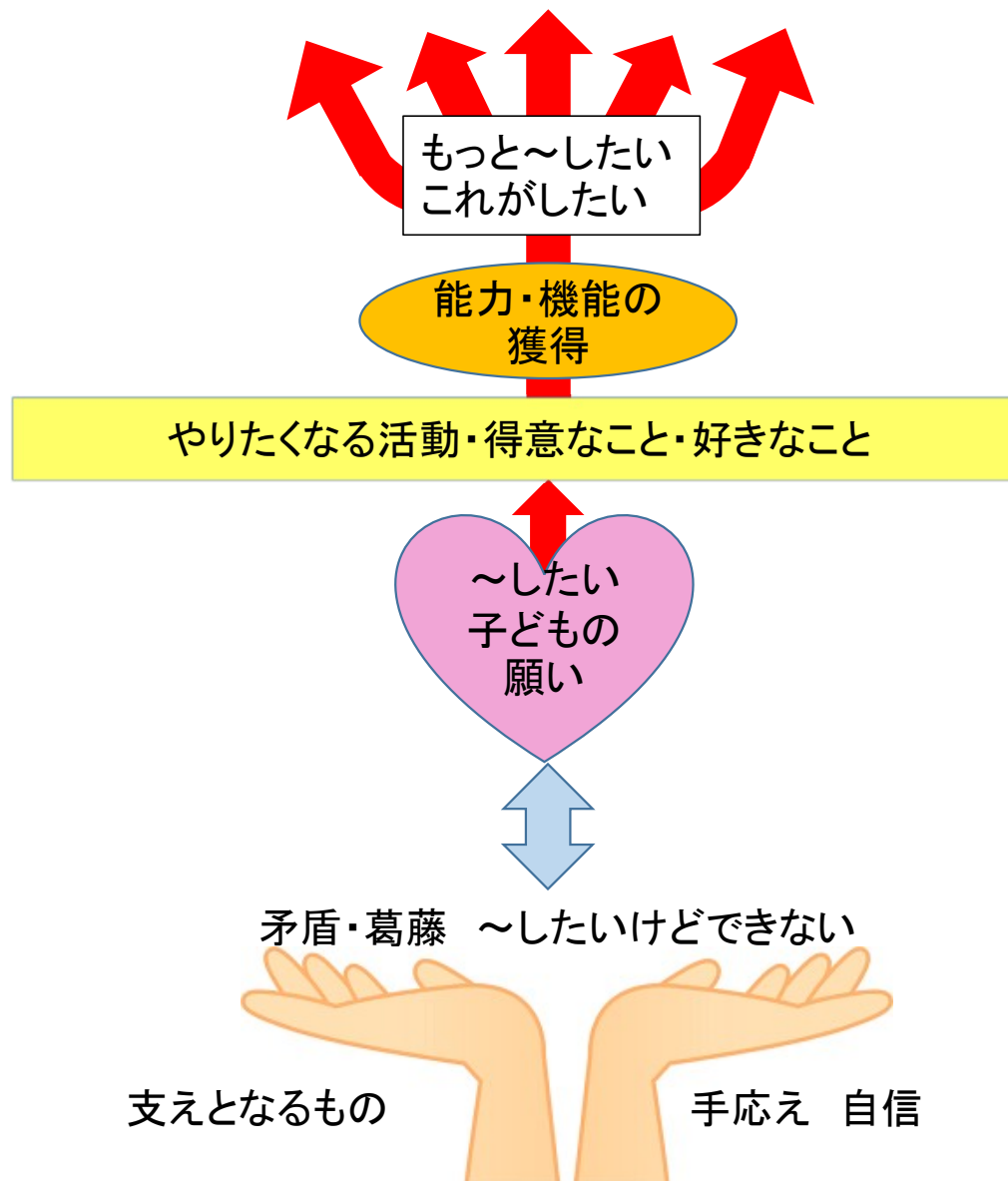
～だけれども～する

～しながら～する

～してから～する


～ではない～だ

～だ



“～ができる”という到達点に
注目するのではなく、

できるに引っ張り上げる
ことでもない



能力・機能の
獲得

能力・機能の獲得は、子どもが主体的に
働きかけていった結果であり、
これ自体が目的ではない